

第5章 推進体制

組織体制や進行管理の仕組み、予算編成との連携など、戦略計画や分野別計画を着実かつ効率的に推進していくための体制を示します。

1 市民との協働^{*}と行政内部の意識づくり

将来都市像の実現のために、まちづくりの目標をはじめとした総合計画を市民と共有し、一緒になってこれからのまちづくりに取り組んでいくことが重要です。そのために、さまざまな広報・広聴手段を通じて市民との情報共有に向けた取組みを行います。更には、事業の企画立案・実施・評価・改善の各段階で適切な協働の取組みを進めていきます。

また、全職員がまちづくりの目標をはじめとした総合計画を共有し、確実に推進するために、人事評価システムを活用し、各自の組織・個人目標との関連を明確にします。

2 総合計画と一体となった予算編成とPDCAサイクル^{*}による進行管理

総合計画をより実効性のあるものとするために、予算編成においては、実施計画と連携し実施計画に掲げた事業の確実な実施に努めるとともに、総合計画の進行管理については、基本計画に掲げた目標の達成状況を踏まえつつ、行政評価^{*}を活用したPDCAサイクルによる進行管理を行います。

なお、基本計画に掲げた目標の達成状況については、市民の意識や満足度を把握する市民意識調査の実施などを通して定期的に把握するとともに、行政評価の結果については、市民や市民活動団体、企業などと行政の情報共有に努めます。

3 新たな組織体制

総合計画の進捗状況を市民の視点で検証するための体制を整備するとともに、総合計画の戦略計画については、各分野が相互に関連しているため、相乗効果を発揮できるよう実施し、また、検証する必要があることから、組織を横断した新たな仕組みの検討を行っていきます。